

臨床研究の実施に関する情報公開

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会および病院長の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

| | |
|--------------------|--|
| 研究課題名 | FDVH を用いた全骨盤照射を伴う前立腺がん VMAT に関する f 値の検討 |
| 目的及び方法 | 放射線治療計画において各臓器の機能を温存するために、リスク臓器(Organ at Risk : OAR)の線量を可能な限り低減し、治療計画を立案することは重要である。標的への線量とリスク臓器(直腸と膀胱)の線量について、両者の均衡を保ちつつ、可能な限り OAR の線量を低減するために、達成可能な実現可能性値(Feasibility Value : f 値)を確定できれば、治療計画を実施する際の目安となり、計画者間のばらつきも減少すると考えた。本研究では、当院で全骨盤照射を伴う強度変調回転放射線治療(Volumetric Modulated Arc Therapy : VMAT)で外照射を行った前立腺がん患者様のデータから、VMAT で実施された症例を対象に直腸と膀胱の線量制約を満たし、OAR の線量を最大限低減させ、標的(前立腺+リンパ節)への線量均一性を担保できる f 値を検討する。 |
| 研究対象者 | 2016 年 4 月 1 日～2025 年 2 月 28 日の間に、当院で全骨盤照射を伴う前立腺がん VMAT による外照射を実施した患者様 |
| 利用する試料・情報の項目と取得の方法 | 下記の試料・情報を対象患者さまの診療録より収集し利用します。 患者基本データ：疾患名(病期含む)、グリソンスコア、膀胱体積、直腸体積 |
| 利用または提供を開始する予定日 | 実施期間：承認後～2026 年 2 月 28 日 対象期間：2016 年 4 月 1 日～2025 年 2 月 28 日 |
| 試料・情報の提供を行う機関及びその長 | 中東遠総合医療センター 院長 宮地 正彦 |
| 研究責任者 | 臨床放射線室 山崎澄人 |
| 利用する者の範囲 | 研究責任者 診療放射線室 山崎澄人 研究分担者 診療放射線室 黒田紗弓 |
| 情報の管理者 | 院長 宮地 正彦 |
| 研究の拒否 | 患者様又は患者様の代理の方が、この研究のために情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。除外の申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでにデータ化された場合等、除外できない場合があります。 |
| 個人情報保護について | 本研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また研究関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。研究関係者がその職を退いた後も同様とします。 |
| 問い合わせ先 | ◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 所属 臨床放射線室 氏名 山崎澄人 電話 0537-21-5555 (代表) |